

学校だより

豊かつ子



喜多方市立豊川小学校

令和2年4月21日(火)

発行者 校長 遠藤 信恵

第2号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成

◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業 4/23(木)～

新年度がスタートして2週間が過ぎました。全国的に新型コロナウイルス感染拡大が深刻になっていく中、本校では喜多方市教育委員会の指示を受けながら子ども達の安全や健康を第一に考え、感染予防のための制限や配慮等を行いながら教育活動を進めてきました。子ども達もマスクや手洗いなど感染予防に努めながら元気に生活し、やっと学校生活が軌道に乗ってきたところではありますが、今回、新型コロナウイルス感染増加に対する緊急事態宣言の対象地域が全都道府県に拡大されたため、喜多方市内の小中学校は、4月23日(木)から5月6日(水)まで臨時休業の措置をとることになりました。はつらつと学校生活を送っている子ども達のことを考えると、再度、臨時休業を実施することはとても残念に思いますが、今できる最大の予防策である「ステイ ホーム」を実践していくことは、子ども達の生命や健康を守るためには大変重要であると受け止めています。

臨時休業中、感染予防に努めながら可能な限り学校生活に準じた生活が送れるよう「臨時休業中の学習・生活計画表」を作成し、学習や生活についてしっかりと事前指導を行いました。保護者の皆様には、別にお配りした「新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業について」を必ずご覧いただき、ご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

PTA総会議案についてのご承認、ありがとうございました

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、17日(金)に開催を予定していた授業参観、PTA総会、学級懇談会の開催が急遽中止となり、保護者の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。本来ですと、保護者の皆様に子ども達の学校生活の様子をご覧いただき、学校長からは学校経営等についての説明を、学級においては学級担任との顔合わせや学級経営等についての説明をすべきところですが、すべて要項に代えさせていただくことになり大変申し訳なく思います。

PTA 総会での議案につきましては、保護者の皆様に書面による議決をお願いしたところ、すべて承認されました。今後の状況によっては計画通りの実施が難しい事業もあるかと思いますが、新役員の皆様を中心に、子ども達のために1年間どうぞよろしくお願いいたします。

なお、現時点でのPTA活動の中止・変更等の予定は以下の通りです。

- 4月23日(木) PTA合同委員会→人数を制限して5月12日(火)に開催
- 5月16日(土) PTA奉仕作業→総務部と教職員でプール清掃のみ17日(日)に実施
- 今年度の各学年行事→すべて中止



朝のマラソンで体力づくり

朝のマラソンが始まりました。登校するやいなや校庭に飛び出してくる子ども達。それぞれのペースで、走ったりウォーキングをしたりミニハードルを跳び越えたりと、とても楽しそうに取り組んでいます。はじめは戸惑っていた1年生も、今では上級生に負けないくらい元気に活動できるようになりました。6年生が後片付けをきちんと行う姿も立派です。ぜひ、臨時休業中も、縄跳びや体育の授業で行っているプログラムなど、できる運動を続けてください。



【ミニハードル越えも速い！】

自分の命は自分で守る ～避難訓練～

8日（水）、地震による火災発生を想定した避難訓練を行い、避難経路と避難時の行動を確認しました。

校庭（第1避難場所）に避難した後、喜多方消防団第一支団第六分団の皆様の協力で、ポンプ車による放水訓練を見学しました。消防団の新明様からは、避難時のきまり「お・か・し・も」を守る事の大切さをお話いただき、その後、6年生が水消火器を使って消火訓練を行いました。

普段から「人の話をしっかり聞くこと」「落ち着いて行動すること」を身につけていることが、いざというときに自分の命を守ることになります。これからも意識して生活させていきたいと思います。第六分団の10名の皆様、お忙しい中ご協力ありがとうございました。



【下級生が見守る中での消火訓練】

ルールを守って事故ゼロを！ ～交通教室～



【ドライビングスクールで練習】

15日（水）に交通教室を行いました。会津若松警察署の方にご指導いただき、1・2年生は学校周辺の道路で歩行や横断の仕方を、3・4年生は学校の敷地内、5・6年生は喜多方ドライビングスクールのコースをお借りして、安全な自転車の乗り方について練習しました。3・4年生では、自転車の運転技術が未熟な児童や自転車が体に合っていない児童が見られました。5・6年生は上手に乗れていましたが、油断せずに安全運転を心がけましょう。子どもの事故が多いのが飛び出しです。一旦停止や安全確認など、交通ルールを絶対を守るようご家庭でもご指導ください。

よい本は「心」と「頭」の栄養です

読み聞かせボランティアの山崎三枝子さんによる、絵本の読み聞かせが始まりました。いつも子ども達には「人の話は目と耳と心で聞く」と話していますが、読み聞かせの時の子ども達はまさにその通りの姿で、目の輝きが断然違います。思わず言葉が出てしまう子も…。子ども達は絵本の世界を存分に堪能し、豊かな時間を過ごしていました。



【絵本のお話に引き込まれ、真剣な表情の子ども達】



また、図書委員会の児童が、1年生への読み聞かせを行いました。はじめは絵本を読む上級生も読んでもらう1年生も緊張した様子でしたが、やさしく絵本を読んでもくれるお兄さんお姉さんの姿に安心したように、1年生も絵本を楽しんでいました。図書委員会の子ども達は、1年生が楽しんでくれるようにと一人一人が考えて本を選びました。やさしさや思いやりの気持ちも伝わってくる読み聞かせでした。

子ども達には、たくさんのよい本と出会ってほしいと願っています。「子供の読書活動の推進に関する法律」には、**子どもの読書活動は、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きるための力をつけていく上で欠くことのできないもの」と**明記されています。



【やさしい気持ちも届きます】

本を読むことは、**子ども達の情操面の育成に役立つだけでなく、文字情報から自分でストーリーを組み立てて、それを記憶しながら読み進めるため、考える力をもっとも発達させることのできる活動であり、小学生の学力に一番影響するのは読書活動であるとも言われています。**

臨時休業中には、たくさんの本を読み、読書の楽しさを味わってほしいと思います。ぜひご家族の皆様も一緒に本を読んでください。家族で本を読み一緒に過ごした時間は、子ども達にとって成長後も心の支えになるすてきな思い出になることでしょう。